

我
逢
人

「地域おこし協力隊」の仕事を通して、
 砺波ではじめてひとり暮らしをして、いろんな人と出会って、
この社会には いろんな仕事をしている人がいる、と気づいた。

特
別
号
(最終)

見てくださった方
 ありがとうございます
 (♡) ♡
 2022/3
 砺波市地域おこし協力隊
 のせまこ



そして、いろんな理由や気持ちを持って暮らしている人が
 いる、ということも知った。彫刻をするために東京に
 出たけれど親の体調が悪くなり砺波にイターンを
 したという人。出会った人と一緒になるため
 台湾から来た人。ワーキングホリデーで砺波に来て
 清掃会社で働きシェアハウスで暮らすミャンマー人。
 実家の古民家をゲストハウスにした人。砺波の
 伝統家屋「中島家」を守り継ぐボランティア活動をする
 人たち。縁があって期間限定で薬剤師として埼玉から
 来た人。そして、地元大阪にいたときは
 深く考えもしなかった行政があって地域があること。

● 空き家での生活

空き家があっても、所有者がなかなか手放さず
 市場に出せない(空き家バンクに載せられない)と問題は深まるばかりと
 耳にしました。[空き家に住むことも地域おこしの一環]ということで、
 ひとりで4LDKの空き家で生活させていただきました。まさに、足るを知る状態。
 人が生活していなかったからか、最初の夏はGさんが何匹も出ました。
 メンタルが強くなりました。冬は水道管が凍結するという寒さを体験しました。
 富山で安心して生活をするには、12・1・2月は車が必要で、朝は「雪かきをする」という
 時間を含めて身支度の準備をします。

● ^{となみ}石浜馬尺

^{じょうはな}城端線 オレンジ色の電車。

はじめて見たときは「かわいいな、レトロだな」とおもいました。

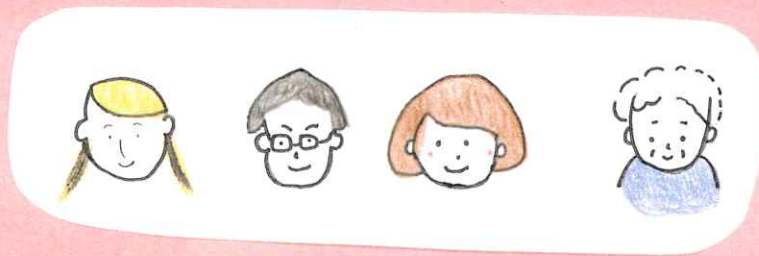
レンタサイクルを利用して、県外から増山城跡へ向かう人の多さ。

散居村展望台に向かうツワモノ/大学生もいました。

(散居村展望台までのバスが運行されるといいなとおもっています)

毎日きれいなお手洗いを使えるのは週6でお掃除する人がいるから。

日々この小さなコミュニティスペースのなかでつながりやおしゃべりが生まれていて、
都会では考えられないなとおもいながら混ぜてもらっていました。



● 覚えた富山の方言 (呉東と呉西でちがうとおもう)

		標準語
「おいでた？」	→	「来られた？」
「そうなが？」	→	「そうなの？」
「たらんだ？」	→	「たりなかった？」
「あいそんない」	→	「さみしい」
「はがやしい」	→	「はがゆい」

— 富山県内で好きな場所と風景 ♪ —

- ・ 立山黒部アルペンルート の 壺堂 の 満点の星空
- ・ 富山市 呉羽町 呉羽山公園からの立山連峰
- ・ 砺波市 夢の平スキー場からの散居村・コスモス・すいせん
- ・ 富山市立美術館から見る環水公園
- ・ 上市町の穴の谷の霊水 — 上市町に入った瞬間
空気が変わる気がする ♪
- ・ 高岡市 雨晴海岸
- ・ 氷見市 唐島と立山連峰
- ・ 朝日町 春の四重奏
- ・ 射水市 新湊大橋のライトアップ
- ・ 富山市 八尾町 おわら風の盆
- ・ 小矢部市 稲場牧場からの散居村
- ・ 南砺市 五箇山 相倉集落

父は徳島県出身で、夏はよく阿波踊りを見に行きました。

夏になると、阿波踊りの音楽が脳内で流れます。

今年はおわらの豊色やかな踊りを鑑賞できるとうれしいな～。

— 関係人口、そして観光とは (3) —

6

関係人口とは、仕事や観光などで地域を訪れる「交流人口」、
地域に移住する「定住人口」とちがって、
地域と多様な関わり合いをする人のこと。

ふるさと納税で応援する というのも、単純にその産地のものを買うのも
もちろん、
その人をきっかけに 周りの家族や友だちが興味を持ち
足を運んでくれるのもそうです。

わたしが2年前に砺波に住むと決めて伝えたとき、
両親や友だちは「どこ、それ?」という反応でした。
でも、わたしをきっかけに富山県や砺波市のことに興味を持ち、
(たとえば チューリップフェアに行く、いろはすの採水地が砺波と知り お水を
買うときは それを選ぶ、大門素麺をお土産で買う) など
ひとり・ふたりと関係人口が増えたのがうれしかったです。

そして コロナ禍のなか生活をし、ひとり旅が好きなわたしが
「観光」ってなんだろうと考えると、究極、「あの人に会いたいから ~に行く」と
場所もそうですが 人に重きが置かれると 感じました。

砺波で いろんな人に出会えて 良かったです。 ありがとうございます。